



▼…憧れた装束で高校生が雅楽披露 海浜町の赤穂高校で6月18日、伝統芸能研究会雅楽部の公演があり、装束を着けた部員5人が練習の成果を披露した。

同部は雅楽団体「南都楽所」の楽師でもある永井信行教諭(52)を顧問に2011年に創部。近年はコロナ禍でさまざまな制約がある中、限られた時間で練習に取り組んできた。この日は特別に学校の許可を得て、これまで演奏を見てもう機会がなかった保護者を

招待した。普段活動している校舎4階の稽古場で、京都から取り寄せた色とりどりの直垂を着用した部員たちが舞と龍笛演奏を披露した。

今回の公演で部活動に区切りをつける部長の野村采可さん(17)は「3年間は「コロナで公演の機会がなかったの直垂姿で演奏できてうれしい」と喜びを表し、「大学に雅楽部があれば絶対に入部したい」と伝統芸能への興味を話した。(写真は装束を着けて演奏を披露した赤穂高校の伝統芸能研究会雅楽部)